

## 芸術による地域創造研究所 活動報告書

所 長 渡 邊 晃 一

### ○研究活動内容

#### I 福島大学芸術による地域創造研究所の概要

##### 1. 研究テーマ・目的

- ・地域の活性化に関する実践的研究
- ・芸術による文化活動を通じた街づくり

##### ○今年度の主な研究メンバー

芸術による地域創造研究所は、学系の専門的領域を横断した学際的な研究を推進し、県内の文化施設の研究者によって構成される複合的な組織。

<研究代表者（研究所長）>

人間発達文化学類 渡邊晃一

<研究分担者（プロジェクト研究員）>

人間発達文化学類 内藤良行（監査）

人間発達文化学類 初澤敏生

人間発達文化学類 澁澤尚

行政政策学類 久我和巳

共生システム理工学類 永幡幸司

うつくしまふくしま未来支援センター 天野

和彦

<連携研究者（プロジェクト客員研究員）>

いわき市立美術館・館長 佐々木吉晴

福島県立博物館・副館長 川延安直

福島県立博物館・主任学芸員 小林めぐみ

福島県立美術館・主任学芸員 増淵鏡子

郡山市立美術館・主任学芸員 杉原聡

東京学芸大学・准教授 笠原広一

北海道教育大学/名誉教授 佐藤昌彦

会津大学・教授 柴崎恭秀

宗像窯窯元/陶芸家 宗像利浩

NPO 法人 commons・理事長 中里知永

##### 2. 研究概要

芸術による地域創造研究所は、学系の専門的領域を横断した学際的な研究を推進し、県内の文化施設の研究者によって構成される複合的な組織である。研究内容としては以下の 7 件があげられる。

(1) 芸術文化による街づくりの意義に関する研究

(2) 芸術文化を通じた地域の活性化の事例研究

- ・国内外の事例収集
- ・成功要因の分析、調査

(3) 県内モデル地域における文化政策研究

・地域文化資源の洗い出しとネットワーク化の研究

- ・地域産業と連携した研究支援
- ・デザイン（新たな商品開発、ブランディング）

g)

(4) アートイベントの企画と運営による実践研究

- ・芸術祭の企画監修、アドバイス
- ・モデル地域における芸術企画の実践研究

##### 今年度の実践研究

二本松市「重陽の芸術祭」

(5) 芸術文化による国際交流

- ・ビエンナーレ、シンポジウム

(6) 東日本大震災後の復興における支援活動

- ・「鯉アートのぼり」
- ・「緊急災害時のユニバーサルデザイン」

(7) 学生の学習効果の検証

- ・演習：「芸術企画演習」
- ・講義：「現代アートマネージメント(COC)」

### II. 令和 3 年度の研究報告

#### 1. 研究テーマと概要

1) 芸術企画の受託研究

- ・県内モデル地域における文化政策研究
- ・アートイベントの企画と運営による実践研究

① 事業題目

「福島ビエンナーレ 2022 ～風月の芸術祭～」

に向けての設営準備

② 目的

福島大学との協働により、白河市の歴史や文化を基盤とした芸術作品(絵画、彫刻、書、文学、舞踊、映画等)の創作、鑑賞、体験等の機会を創出することで、市民が地域や文化芸術に対する関心を高め、地域に芳醇な文化を实らせることを目的とする。さらには、市民参画により運営することで人づくり、まちづくりを推進し、全国にPRし集客を図ることによって人的交流や観光振興、経済活性化を推進する。

③ 研究期間

令和3年4月1日～令和5年3月31日

④ 事業事務局

〒961-8602 福島県白河市八幡小路7番地1

⑤ 主な活動内容

令和3年度は、白河の歴史、文化に根付いてきた「狛犬・神獣」の歴史的な史料と重ねて展開した。

具体的には、アーティストの小松美羽氏が白河の狛犬を紹介する冊子を作成することの支援活動を行なった。



2) 芸術企画のアドバイザーの委嘱

① 事業題目

JAMSTEC(国立研究開発法人海洋研究開発機構)

50周年事業「Art X Science」企画にかかる各種助言

② 目的

本機構では創立50周年の節目を迎えるにあたり様々な記念事業を企画しており、これらの取組を通じて50年の歩みを振り返るとともに、未来に向かって新たな一歩を踏み出す契機としたいと考える中で、芸術分野における長年の経験に基づいた、アドバイスを委嘱された。

③ 研究期間

令和3年4月1日～令和4年3月31日

④ 事業事務局

JAMSTEC(国立研究開発法人海洋研究開発機構)

オンラインイベント/ 令和3年11月16日

「アート x サイエンス紹介

- サイエンスの中にあるアートの価値 -」

総合司会:

・豊福高志 (JAMSTEC50周年記念事業統括)



- ・ 椿 玲未 (JAMSTEC50 周年記念事業アドバイザー パネリスト)
- ・ 渡邊晃一 (福島大学芸術による地域創造研究所)
- ・ 小國健二 (JAMSTEC 付加価値情報創生部門  
数理科学・先端技術研究開発センターセンター長)
- ・ 廣部紗也子 (JAMSTEC 付加価値情報創生部門  
数理科学・先端技術研究開発センター  
計算科学・工学グループ)
- ・ 長野由梨子 (JAMSTEC 地球環境部門  
海洋生物  
環境影響研究センター深海生物多様性研究グループ)
- ・ 笠原敬弘 (JAMSTEC 経営企画部 企画課)
- ・ 後藤久美 (JAMSTEC 研究推進部研究推進第 2 課)



#科学技術 #海 #50周年  
JAMSTEC 創立50周年記念オンラインイベント



### JAMSTEC での作品展示風景

#### 3) 研究所主催の企画展

- ①事業題目：『水の惑星「地球」展  
-海と宇宙から知る地球のすがた-』
- ②目的：宇宙をテーマとする科学館ならではの視点から「海洋教育」を芸術分野の要素を取り入れた。  
「STEAM」教育の一環として実践。地球環境へ大きな影響力を持つ「海洋環境」の保全に対する意識を喚起させるとともに、豊かな自然環境を守り、次世代に引き継ぐことの大切さを学ぶ機会とするSDGs目標14「海の豊かさを守ろう」への理解を促した。
- ③研究機関：令和 3 年 8 月 1 日  
～令和 4 年 3 月 31 日
- ④開催場所：郡山市ふれあい科学館
- ⑤共催：郡山市ふれあい科学館
- ⑥後援：JAMSTEC (国立研究開発法人海洋研究開発機構)
- ⑦助成：2021年度「海の学び ミュージアムサポート」

福島大学  
芸術による地域創造研究所

50th Anniversary  
Shining for the Earth,  
Shining for Science & Technology

20th Anniversary  
Shining for the Earth,  
Shining for Science & Technology

# 水の惑星「地球」展

— 海と宇宙から知る地球のすがた —

空はとてとても暗かった。しかし地球は青みがかった。  
Небо очень и очень темное, а Земля голубоватая.  
ユーリイ・ガガーリン

暗い宇宙で青くかがやく地球は、その表面の70%以上を水でおおわれためずらしい星です。  
地球の「水」をテーマに、海、宇宙、アートの3つの視点から知る展示企画を開催します。  
貴重な資料と作品をぜひご覧ください。

**1月29日(土)**  
～**3月21日(月・祝)**

開催場所 郡山市ふれあい科学館

21F 展示ゾーン…10:00～17:45 (入館は17:00まで・要観覧券)  
22F 展望ロビー…10:00～17:00 (無料)

JAMSTEC 海洋研究開発機構

主 催：福島大学芸術による地域創造研究所  
共 催：国立研究開発法人海洋研究開発機構、郡山市ふれあい科学館(公益財団法人郡山市文化・学び振興公社)  
特別協力：船の科学館「海の学びミュージアムサポート」  
お問い合わせ：郡山市ふれあい科学館  
住所：郡山市藤原2-11-1 ヒックアイ 20～24 棟  
電話：024-936-0201

企画展の詳細は  
WEBサイトを  
ご覧ください

## 2. 今後の展望

2021年度は東日本大震災後、10年を迎えた。福島県は原子力発電所の事故によって、伝統的な文化が失われつつある中で、様々な取り組みに本研究所も活動支援をしてきた。

2021年度はまた新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大から、様々な芸術活動やシンポジウム等の企画が制限されたが、そのなかでも出来ることを模索し、オンラインなども活用しながら地域の文化活動を様々な角度から支援する機会を提供してきた。

芸術による文化創造研究所は現代の芸術活動をソフトの面から支援し、これまで構築した人のネットワーク、文化施設、産・学・官の連携により、福島からの文化発信の基盤を形成してきた。若い人たちが幅広い芸術活動に触れ合うことを通して、交流する機会を促進し、福島の新しい地域創造に積極的に関与し、学生が地域文化を考える契機として推進していきたい。